

第3次小田原市環境基本計画 見直し（案）について

1. 見直しの方向性

- ・第3次小田原市環境基本計画（計画期間：令和4年度～12年度）では、計画の着実な推進を図るため、望ましい環境像を実現するために定めた6つの施策について達成状況等の評価を行う「中間評価」を実施し、計画の見直しを行うこととしている。
- ・令和6年度に実施した中間評価（取組内容の進捗状況や課題など）や、社会情勢の変化（国等の動向の変化、第7次総合計画策定に伴う変化等）を踏まえ、取組内容や詳細指標の見直し、指標の目標値の再設定を行う。
- ・望ましい環境像や全体計画期間（令和4～12年度）、取組の方向性、計画の体系等、計画の構成における部分については、中間評価までの取組内容や社会情勢の変化を踏まえても、大きく方向性が変わるものではないため、現計画から引き続き継続する。
- ・環境基本計画の施策3「脱炭素」及び施策4「資源循環」については、小田原市気候変動対策推進計画及び一般廃棄物処理基本計画の見直しと連動し、内容を反映する。

2. 見直しスケジュール（別紙参照）

3. 見直しの具体的内容

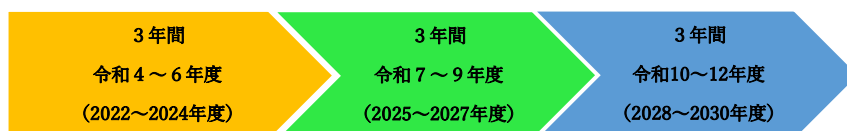
（1）社会情勢の変化の追加（P1～12）

- ・計画策定後の世界・国・小田原市の主な動向の追加
- ・第7次小田原市総合計画策定に伴う記載の追加

（2）今後の計画期間の見直し（P13）

- ・総合計画策定にあわせ、令和7年度に見直しを実施し、全体計画期間の9年間（令和4年度～令和12年度）のうち、見直し後の計画は令和8年度からスタートすることとする。
- ・見直し後の計画期間は5年間（令和8年度～令和12年度）となるため、今後は中間評価及び見直しを3年に1度行うことはせず、必要があれば見直しを実施することとする。
- ・各取組の柱の、詳細指標目標年次は、令和12年度とする。

《計画期間変更前》



《計画期間変更後》



（3）これまでの成果と課題に【第3次環境基本計画策定後の取組内容と課題】を追加（P25～）

- ・中間評価を踏まえ、第2次環境基本計画における5つの目標ごとに関連する、第3次環境基本計画策定後の取組内容と課題を追記

(4) 第4章 望ましい環境像を実現するための施策 (P48～)

- ・中間評価までの進捗状況や課題、社会情勢の変化などを踏まえ、取組内容（環境再生プロジェクト・エネルギーの地域自給を加速を促す視点・ゼロエミッションの実現を目指す視点・ネイチャーポジティブの視点）や指標の追加・見直しを実施
- ・見直した取組内容などを踏まえて、各詳細指標の令和12年度目標値と活動スケジュールの再設定を実施

主な見直し項目

施策1 地域循環共生圏の構築 (P48)

- ・成果指標を「小田原の森里川海を目的に来訪する旅行客の割合」に見直し

（見直し前：小田原の森里川海に触れる体験をした都市住民の割合）

→指標根拠と同調査を実施することができないため、多くの人が市の森里川海の魅力に触れたことを図ることができる新たな指標へ変更

取組の柱 1-1 環境資源の魅力発信 (P49)

- ・詳細指標を「森里川海ブランド認定品の出展回数」に見直し

（見直し前：森里川海ブランドの認定数）

→環境資源の魅力発信の指標として、より直接的に、環境と経済の好循環を生み出すことを評価可能な指標へ変更

取組の柱 1-2 先導的事業の推進 (P50)

- ・【主な取組】を現在の取組内容などにあわせ再整備したほか、**環境再生プロジェクトの推進**の新たな位置づけ

施策2 多様な主体の育成・活躍の推進 (P51)

- ・成果指標を「環境に関する講座や啓発イベントに参加している人数」に見直し

（見直し前：環境に関するイベントに参加している人の割合）

→根拠となる調査が毎年実施されない可能性があるため、環境学習や環境保全活動などへの参加や協働の状況を評価可能な指標へ変更

取組の柱 2-1 環境学習・環境活動の推進 (P52)

- ・詳細指標を「環境学習や環境意識の啓発に係る講座の実施件数」に見直し

（見直し前：環境学習実施件数）

→市内全体で実施する環境に資する講座やイベントの実施件数を指標とすることで、多くの主体による参加の実態をより直接的に評価できる指標とするため

施策3 脱炭素 (P53)

- ・目標、2030年に目指す姿の追記等

見直し理由：社会情勢の変化及び市の取組状況等にあわせて追記、見直しを実施

※ 取組の柱 3-1、3-2 気候変動対策推進計画の見直しにあわせて指標・取組内容を見直し

施策4 資源循環(P57)

- ・ゼロエミッションの実現を目指す視点を追加
- ・取組の柱4-2の詳細指標「資源化率」を取組の柱4-1へ見直し、取組の柱4-2詳細指標に「排ガスの大気排出基準値以下の割合」を新たに位置づけ

→各取組をより直接的に評価可能な指標へ変更

※ 取組の柱4-1、4-2 一般廃棄物処理基本計画の見直しにあわせて指標・取組内容を見直し

施策5 自然共生

取組の柱5-1 生態系の維持保全(P63)

- ・ネイチャーポジティブの推進の視点を追加
- ・詳細指標を「生物多様性に係る環境保全に取り組んでいる区域」に見直し
- ・【主な取組】に、自然共生サイトの認定拡大・支援誘致の新たな位置づけ

取組の柱5-2 森里川海の保全・活用(P64)

- ・詳細指標（里）を「耕作放棄地累計解消面積」に見直し
（見直し前：耕作放棄地面積及び累計解消面積）
→耕作放棄地面積の調査が未実施となったため、累計解消面積のみに変更
- ・詳細指標（川）を「主要河川のBODの環境基準適合率」に見直し
（見直し前：酒匂川水系保全協議会実施イベント参加者数）
→啓発事業以外の取組内容を含め、川の環境保全の状況をより直接的に評価できる指標へ変更
- ・詳細指標（海）を「アワビの水揚げ量」に見直し
（見直し前：小田原漁港の水揚げ量）
→取組内容（資源保護や漁場環境の改良等）をより直接的に評価できる指標へ変更

施策6 生活環境保全

取組の柱6-1 快適な街の維持保全(P68)

- ・詳細指標を「まちなか緑化助成事業で緑化された延長」に見直し
（見直し前：再整備した街区公園数）
→今後の取組内容にあわせて変更

取組の柱6-2 美化の推進と衛生環境の保持(P69)

- ・現在実施している取組にあわせ、取組内容の再整備を実施

取組の柱6-3 公害対策(P70)

- ・新たな公害問題への対応や現在実施している取組など、取組内容の再整理

- ① 8月6日 第1回環境審議会 環境基本計画ほか見直し案審議

② 11月上旬～中旬 第2回環境審議会 環境基本計画ほか素案審議

③ 12月議会 素案提示、パブコメ実施報告

④ 12月～1月 パブコメ実施
- ⑤ 3月議会 パブコメ結果報告、改定案報告

⑥ 3月下旬 第3回環境審議会 環境基本計画ほか改定案審議

⑦ R8年4月 見直し後計画 開始

